

令和3年10月19日

新型コロナウイルス感染防止ガイドラインについて

日本学生卓球連盟

この注意事項は、国際卓球連盟（ITTF）のガイドラインに掲載されている競技特性を踏まえた注意事項等を加味して、（公財）日本卓球協会より2021年3月15日時点で公表された新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン等を基に作成されています。

なお、ここに述べる感染対策は、現段階で得られている知見に基づくものであり、今後の科学的根拠の蓄積や、流行状況の変化に応じて随時変更されてゆくべきものですので、適宜改訂を予定しております。ご利用の際には最新版であることをご確認ください。

また、この基本方針に従うことで、必ず感染を防御出来るというものではなく、その時の環境、感染状況等を考慮して、現場にいる方々の適切な判断で、臨機応変な対応が必要となりますので、御協力をお願いいたします。

1) 大会会場への入場について

- ・参加者及び全ての入場者はホームページに掲載してある健康状況申告書兼大会参加・入場同意書を各大会初日に一度だけ提出していただきます。2日目以降については、スマートフォン版を準備しますので、スマートフォンをお持ちの方はスマートフォン版でご提出ください。（監督・コーチ・選手はスマートフォン版で提出してください）
スマートフォンをお持ちでない方、利用できない方は紙版をご利用ください。
- ・来場前2週間以内に感染が判明した方、感染者（感染の疑いがある者や入国制限国等への渡航者等を含む）との濃厚接触がある方、発熱やせき、のどの痛み、息苦しさ等の症状がある方など、健康状況申告書で2週間以内に体調不良のあった方は大会への参加・会場への入場ができません。
- ・感染者および濃厚接触者の可能性がある選手について、虚偽の報告をして大会へ参加すること絶対なきよう各大学責任を持って大会へ臨むこと。
- ・大会前14日以内に新型コロナ感染症陽性となった者は、例え医療機関や保健所が14日経っていないで退院を許可しても大会に参加することはできません。（新型コロナ感染症を発症した者が発症日から10日前後で医療機関が退院を認めることがあるが、日本学生卓球連盟としては、安全を第一に考え、大会への参加は認めません）
- ・大会期間中は、受付で、手指の消毒と検温を行います。その際、37.5℃以上あった場合には、関係者立ち会いの下で再検査を行い、37.5℃以上が改善されない場合や体調不良と運営側が認めた場合は、体育館から退出していただきます。

・ワクチン接種とPCR検査

- チーム関係者（監督・コーチ・選手・チーム帯同者他ベンチ入りする者）は、ワクチン接種を2度受けていてもPCR検査を必須とし、期間内に必ず行って頂きます。

→PCR検査を大会前10日間以内に行なっていただきます。

- 協賛会社・協力会社・報道、大会関係者は、ワクチン接種を2度受けていればPCR検査は任意とし、受けていない場合は、PCR検査は期間内に必ず行って頂きます。

（①または②）

- ① ワクチン接種を受けていない方が試合会場に入場される場合、

→PCR検査を大会前10日間以内に行なっていただきます。

- ② ワクチン接種を2度行い、そのワクチンにより免疫が出来る期間を過ぎている場合は、PCR検査を受けなくても入場を認めます。

（ワクチン接種は権利であり、決して義務ではありませんので強制は致しません）

（別紙：入場に関するガイドライン・入場者別参照）

- ファイザー社：試合当日7日以前に2度接種を受けた者はPCR検査免除。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_pfizer.html

- モデルナ社：試合当日14日以前に2度接種を受けた者はPCR検査免除。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_moderna.html

- アストラゼネカ社：試合当日15日以前に2度接種を受けた者はPCR検査免除。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_astrazeneca.html

但し、PCR検査を試合前10日間以内に行なっていただくことは推奨いたします。

（ワクチン接種効果が100%でないための推奨）

十分な免疫が確認される期間につきましては厚生労働省ホームページをご覧ください。

- ・大会前2週間以内のワクチン接種による発熱の場合は、健康状況申告書兼大会参加・入場同意書に記載の上、ワクチン接種日を証明出来るものをご提示いただきます。

・PCR検査の結果

陰性の場合：大会参加及び入場を認めます。

陰性以外の場合：大会参加及び会場への入場はできません。

- ・PCR検査を行い陰性結果が出たとしても、検査後大会までに会食などを行った場合は検査の意味がありませんので、各大学責任者は大会までの行動管理を徹底して下さい。

- ・PCR検査機関が出した検査結果を、大学ごとにまとめて提出していただきます。

大会2日前までにまとめて学連へメールでお送りください。

（メールアドレス=japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp）（手書きなどは不可）

- ・大会は当面の間無観客で行います。有観客で開催する場合は大会要項等で事前に告知いたします。

- ・会場に入場できるのは、この大会の来賓及び招待者、運営側に事前に届け出を提出した監督・コーチ・選手、許可を受けたチーム帯同者及び大学関係者、報道関係者、協賛会社、協力会社、審判員を含む大会役員とします。
- ・入退場を繰り返さないでください。昼食等はあらかじめご用意ください。
- ・もし会場の外へ出る場合には、受付に必ず申し出てください。申し出がない場合は再入場が出来ない場合があります。
- ・ご利用時間前後にロビー等で待機せず、速やかな入退館にご協力をお願いいたします。

2) 競技運営

- ・各大会でのベンチ入り人数については、大会要項等で事前にお知らせ致します。
- ・当面の間校歌斉唱及びエールの交換は行いません。
- ・各大会チェンジエンドは実施します。
- ・審判をする際は必ずマスクを着用してください。

3) 会場内での感染防止について

- ・会場へ入場される全ての方は、試合または練習中の選手を除き、参加受付時や試合待機時等に会話をする際には、口と鼻をしっかりと覆うマスクを着用してください。
(マスクについては不織布マスクを推奨いたします)
- ・他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保してください。
- ・更衣室やシャワー室を使用禁止とした場合、着替えはトイレ等で行ってください。
- ・試合で雄叫びをあげる等の行為は禁止致します。退場させる場合があります。
- ・水分補給や食事中は会話をせず、向かい合っでの食事はしないでください。
- ・握手はせず、代わりに一礼することで挨拶としてください。
- ・ラケット交換は、対戦相手のラケットに触れず、互いに見せ合うのみとしてください。
- ・卓球台で手の汗をぬぐわないでください。
- ・卓球台に飛散した汗を拭く際は、必ず審判員に申し出て審判員に拭いてもらうこと。
自分のタオルで卓球台の汗を拭きとることは禁止致します。
- ・タオルや飲料容器等の共有はしないでください。
- ・シューズを手やタオルで拭かないでください。
- ・ボールに触れた手で顔(特に眼、鼻、口)を触らないでください。
- ・タオルは、タオルボックスが設置されている場合は、同じタオルボックスを使用して入れること。タオルボックスが設置されていない場合は、各自でタオルボックスを持参するか(共有はしないでください)自分のカバンやラケットケースを卓球台の下におき、その上に置いてください。
- ・その他、対戦相手や大会役員、審判員等との直接的な接触を極力避けてください。接触する場合は必ずマスクをすること。

・練習場で、練習をしていない時はマスクを着用し、会話はしないこと。

4) 会場内で各自注意すること

入退館時や食事、試合の前後等に、こまめに手洗いを実施してください。会場内に手指消毒剤を設置していますのでご利用ください。

●正しい手の洗い方について

殆どの方々が手の洗い方が十分ではありません。

別紙「正しい手の洗い方」を参考にしてください。

●正しいアルコール消毒について

たっぷりのアルコールを使って、手のひらや甲、指の間、両手親指、手首に乾くまでよく擦りこんでください。

●トイレの使用（コロナは糞尿から床に飛び散ったウイルスも危険です）

履物をしっかりと履き替えること。トイレの入り口に次亜塩素酸等を染み込ませた雑巾が置いてある場合は、シューズの裏を除菌し、さらに乾拭き雑巾で拭き取った上に廊下に出ること。（シューズの除菌剤が付いて濡れた状態で歩かないこと）

●トイレの蓋は流す前に閉めること。

●汗をかいたゼッケンやユニフォームを会場で干す行為は感染防止のため禁止します。

●マスクの内側に触れた手でボールを触ることを防ぐため、マスクを着脱する際は必ず紐を持って着脱すること。

●食べ物のごみやお箸は捨てる前に袋で密閉してから分別ごみ袋に捨てること。（唾液も感染のものとのため）

●会場内は定期的に換気を実施いたします。

●試合に入る前に各自ラケットの持つところなどアルコール消毒をすること。

●鼻をかんだティッシュペーパーの後始末をしっかりとすること。（袋に入れて密閉する）

5) 観客席について

・観客席を大学ごとに配置した場合は、配置図を参照のうえ、その席にお座りください。

・大きな声での会話、応援等をしないこと。応援は拍手だけにしてください。

・応援席は必ず一席以上開けて座り、応援のために席を移動することは禁止致します。

・人溜まりが出来てしまうため、通路でのアップや会話等は禁止致します。

・退館時には使用した座席周りの清掃と除菌を行っていただきます。ゴミ袋を渡しますので、各大学代表者1名は本部席へ取りに来てください。ゴミは、可燃ごみ、段ボール・古紙類、缶、ペットボトル、ビン、プラスチック類に本部席横で分別して出させていただきます。消毒剤を渡しますので、大学ごとに自分たちの座っていた椅子を除菌してください。

6) その他

・今後の状況の変化により、大会の中止、大会日程やタムテーブルの変更等、急な変更が生

じることもあります。

- ・大会前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること。(密集・密接・密閉)
- ・来場者は、大会開催期間中、都道府県知事の感染防止方針に準拠した行動をとるようお願い致します。
- ・大会開催中の会場に加え、交通機関等の会場外、および開催期間外においても、行政機関が発表する最新の感染症対策を確認し、十分に実施してください。
- ・大会参加前に、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを各自お願い致します。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

- ・参加者に陽性者が確認された場合には、保健所や医療機関の指示に従い対応を行います。
- ・大会がない時期や大会前であっても、各大学卓球部において、新型コロナウイルス感染症を発症した者や濃厚接触者の判定を受けた者が確認された場合には、本連盟へ速やかにご連絡ください。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、本連盟に速やかにご連絡ください。
- ・頂きました情報は本連盟内のみで共有し、自治体、保健所や医療機関以外の第三者に提供または開示をすることは決してありません。
- ・感染防止のために本連盟が決めた措置の遵守、主催者の指示に従うこと。指示に従って頂けない場合は、会場から退場して頂きます。このガイドラインの対象となるのは、選手だけでなく会場に入場される全ての方となります。
- ・感染予防及び感染拡大防止に向けた対応策はガイドライン等に基づき本連盟及び主管連盟との連携のもと実施するが、感染症等の発生そのものについて責任を負うことはできません。
- ・各大学の監督又は責任者の方には、所属選手の行動に最善の注意を払い、特にPCR検査を行った後における行動管理や感染防止対策を実施されますようご指導の方よろしくお願い致します。

以上